

単元名 器械・器具を使つての運動遊び「跳び箱遊び」

1 運動の特性

(1) 一般的特性

○いろいろな高さや向き、組み合わせの跳び箱をいろいろな跳び越し方で跳び越すことが楽しい運動である。

(2) 児童から見た特性

○高さのある障害物を越える経験の少ない児童にとっては不安感や恐怖感を持ちやすい運動遊びであるが、多様な遊びを創造できる器具でもあるので、できるようになると楽しさが一段と増し、次の遊びへの意欲につながる運動である。

2 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

○跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組み、きまりを守りなかよく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができる。

(2) 思考・判断

○跳び箱を用いた簡単な遊び方を工夫することができる。

(3) 運動の技能

○跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをすることができる。

3 評価規準

観点	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 運動の技能
学習具活体運動の評価規準	①跳び箱を使った易しい運動遊びを楽しむための活動に、進んで取り組もうとする。 ②運動の順番を守ったり、跳び箱などの使い方のきまりや運動の仕方のきまりを守ったりして仲よく運動しようとする。 ③跳び箱などの安全などを確かめようとする。	①跳び箱を使った易しい運動遊びを楽しむための、いろいろな行い方を知っている。 ②楽しく運動できるように、運動遊びの行い方を考えたり、決めたりしている。	①跳び箱を使っていろいろな運動遊びができる。 ・踏み越し跳び ・支持でまたぎ乗り・またぎ下り ・支持で跳び乗り・跳び下り ・馬跳び

4 指導計画と評価

	1	2	3	4	5	6	7
	①集合・整列・挨拶		②準備運動	③基礎感覚作り	④めあての確認		
10	〈オリエンテーション〉 ○学習の進め方を知る ○簡単な跳び箱遊びを楽しむ	<共通学習> ○踏み越し・またぎ越し跳びの習得学習を行う	<共通学習> ○支持でのまたぎ乗り・下り、跳び乗り下り・馬跳びなどの習得学習を行う	<共通学習> ○ローテーションしながら踏み越し・またぎ越し跳び、支持でのまたぎ乗り・下り、支持での跳び乗り・下り・馬跳びなどの習得学習を行う			発表会
20		<発展学習> ○踏み越し・踏み越し跳びの遊びの中で、できそうな遊びに挑戦する		<発展学習> ○跳び箱遊びの中でできそうな遊びに挑戦する			
30		①整理運動		②学習のまとめ	③集合・整列・挨拶		
40	①整理運動		②学習のまとめ	③集合・整列・挨拶			
評価	ア②③	ア①	イ①②	ア①	イ①②	ウ①	ウ①

5 指導の工夫

(1) 学習過程の工夫

○入学前の児童の運動経験の差を考慮して、2・3時間目に例示されている内容を全児童が経験できるようにする。

○4～6時間目の前半は時間を区切りながら、例示されている動きに取り組みさせる。後半はできそうな動きやがんばってみたい動きに各自取り組みさせる。

(2) 場の工夫

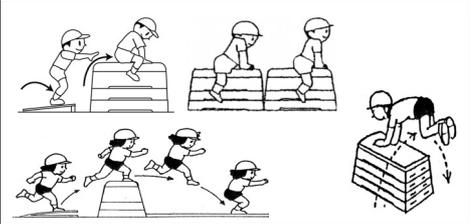
○4～6時間目は跳び箱をつなぎ合わせた場も用意し、遊びを広げたり連続遊びを楽しんだりできるようにする。

1 年
No.58

1 単元名 跳び箱遊び

2 目標 学習の進め方を知るとともに、簡単な跳び箱遊びに親しむことができる。

3 展開 (1/7)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
20分	<p style="text-align: center;">学習の流れを覚え、簡単な跳び箱遊びで楽しむこと</p> <p>1 集合、整列、挨拶をする。 2 本時のめあてを確認する。</p> <p style="text-align: center;">跳び箱遊びの学習の進め方を知り、簡単な跳び箱遊びで楽しもう</p> <p>3 学習の進め方や約束を知る。</p> <p>(1)進め方 <u>共通学習</u>→踏み越し跳び、支持でのまたぎ乗り・下り、支持で跳び乗り・下りなどの跳び箱遊びをみんなで学習する。 <u>発展学習</u>→自分の力にあつためあてをもって学習する。</p> <p>(2)約束 跳び箱の出し入れ、見る位置、挑戦の仕方、協力の仕方など</p> <p>4 グループを作り、役割分担をする 5 場づくりをし、準備運動をする。</p> <p>【準備運動に取り入れたい動き】 ・ケンケン・スキップ・大また走り ・ケンパーとび ・カエルの足打ち ・うさぎとび ・川とび ・馬とび など</p>	<p>○安全に、素早く集まれるようにする。</p> <p>○単元計画を提示し、学習の流れを理解させる。</p> <p>○共通学習で習得する動きの絵を提示していくことで、学習内容をつかませやすくする。</p> <p>○跳び箱の出し入れや見る位置については、丁寧に指導する。</p> <p>◇学習の進め方や約束を理解している。</p> <p>○場の図を用意し、分担を明確にする。 ◇協力して、素早く場づくりをしようとする。</p> <p>○跳び箱遊びでは、踏みきりのリズムやタイミング・助走のスピードコントロール・逆さ感覚・腕支持などが必要となるので、そのための基礎となる動きを経験させる。</p>	<p>単元計画 (掲示用)</p> <p>学習資料</p> <p>跳び箱 マット 踏み切り板</p>
15	<p>6 跳び箱遊びに親しむ。</p> 	<p>○簡単な跳び箱遊びに取り組みせることで、学習への関心や意欲づけを図る。</p> <p>○跳び箱は2～3段とし、恐怖感や不安感を取り除くようにする。</p> <p>○安全な着地について指導する。</p>	
10	<p>7 整理運動をし、後片付けをする。 8 学習のまとめをする。</p> <p>○学習カードの使い方を知り、自己評価をする。 ○全体で本時の学習を振り返る。</p>	<p>○怪我の有無・体調について確認する。</p> <p>○学習カードの観点にそって自己評価させる。</p> <p>【学習カードの項目例】 ・めあてを考えながら学習できたか。 ・力いっぱい跳び箱遊びができたか。 ・準備や片付けをがんばることができたか。 ・約束を守り、仲良く学習できたか。</p> <p>◇これから学習する跳び箱遊びに意欲的に取り組もうとする。</p>	<p>学習カード</p>

1 年
No.59

- 1 単元名 跳び箱遊び
- 2 目標 踏み越し跳びやまたぎ越し跳びでの跳び箱遊びを楽しむことができる。
- 3 展開 (2/7)

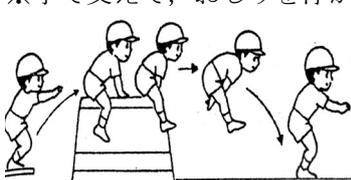
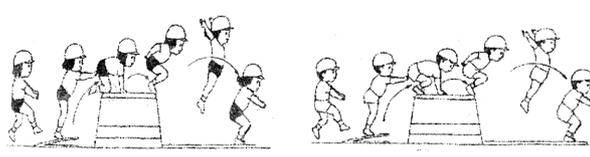
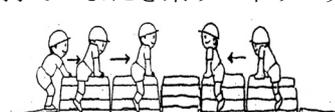
時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
15分	<p style="text-align: center;">踏み越し跳びやまたぎ越し跳びができること</p> <p>1 集合，整列，挨拶をする。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【準備運動に取り入れたい動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンケン・スキップ走・大また走り ・ケンパーとび ・カエルの足打ち ・うさぎとび ・川とび ・馬とび <p style="text-align: right;">など</p> </div> <p>3 跳び箱遊びの場作りをする。</p> <p>4 本時の学習のねらいを確認する。</p>	<p>○安全に，素早く集まれるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>腰は頭より高く上げるようにしよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>手のひらをしっかりと床につけて，視線は前の方だよ。</p> </div> </div> <p>○役割分担に従って，安全に手際よく場づくりができるように指導する。</p>	跳び箱 マット 踏み切り板
25	<p style="text-align: center;">跳び箱を跳び越す遊びを楽しもう</p> <p>5 踏み越し・またぎ越しでの跳び箱遊びをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【またぎ越し】</p>  <p>※足裏全体で踏み切る ※ひざを曲げてふわっと両足で着地</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【踏み越し】</p>  <p>※上で止まらない</p> </div> </div> <p>6 遊びを見合い，友達が考えた跳び箱遊びで楽しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大の字跳び】 【手たたき跳び】 【回転跳び】</p>  </div> <p>7 整理運動をし，後片付けをする。</p>	<p>○踏み越し・またぎ越し跳び遊びに慣れてきたら，自分なりの遊びに挑戦させる。(跳び箱の高さ・向きや着地の方法・位置など)</p> <p>○自分で考えた遊びに名前をつけさせることで，遊びへの関心や意欲を持たせる。</p> <p>◇安全に留意しながら，踏み越し・またぎ越しの跳び箱遊びに取り組もうとする。</p> <p>○怪我の有無，体調について確認する。</p> <p>○役割分担にしたがって，グループで協力しながら後片付けをさせる。</p>	
5	<p>8 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己評価をする。 ○全体で本時の学習を振り返る。 	<p>○学習カードの観点にそって自己評価させる。</p>	学習カード

1 年
No.60

1 単元名 跳び箱遊び

2 目標 支持でのまたぎ乗りやまたぎ下り，支持での跳び乗りや跳び下りなどの跳び箱遊びを楽しむことができる。

3 展開 (3/7)

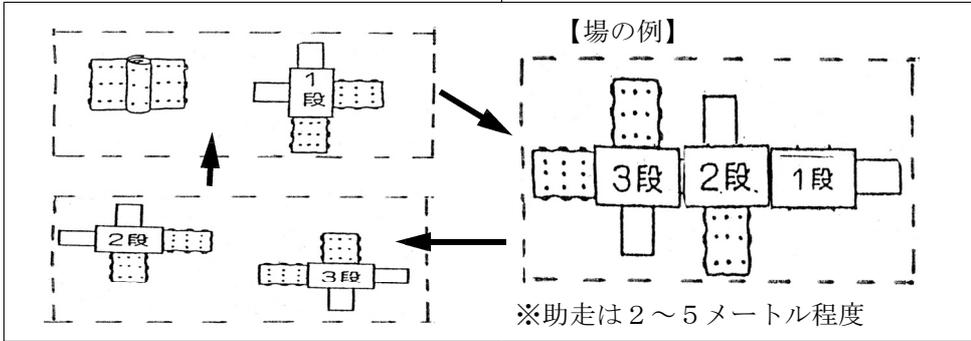
時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
15	<p>支持でのまたぎ乗り・下りや跳び乗り・下りができること</p> <p>1 集合，整列，挨拶をする。 2 準備運動をする。</p> <p>【準備運動に取り入れたい動き】 ・ケンケン・スキップ走・大また走り ・ケンパーとび ・カエルの足打ち ・うさぎとび ・川とび・馬とび など</p>	<p>○安全に，素早く集まれるようにする。</p>  <p>指を開き，手のひら全体をしっかりと着くよ，手に体重を乗せられたらいいね。</p> <p>両手でうさぎの耳を作るよ。高く跳んで両手を着くと同時に両足を跳ね上げられるかな。</p>	跳び箱 マット 踏み切り板
15	<p>3 跳び箱遊びの場作りをする。 4 本時の学習のねらいを確認する。</p> <p>跳び乗り・跳び下りの遊びを楽しもう</p> <p>5 支持でのまたぎ乗り・下りや跳び乗り・下りの遊びを楽しむ。</p>	<p>○役割分担に従って，安全に手際よく場づくりができるように指導する。</p> <p>○跳びはじめ・終わりの合図をしっかりと守らせ，安全に跳び箱運動遊びができるようにする。</p>	
	<p>【支持でのまたぎ乗り・下り】 ※手で支えて，おしりを浮かす</p>  <p>※手で押して，おしりを前に</p>	<p>【支持での跳び乗り・下り】</p>  <p>〈ひざで乗る〉 〈足裏で乗る〉</p>	
15	<p>【支持でのまたぎ乗り・下りの発展】</p>  <p>6 がんばった友達の跳び箱遊びを見合う。 7 整理運動をし，後片付けをする。</p>	<p>○支持での跳び乗りができない児童には跳び箱に手を置いた姿勢からジャンプをさせ，腰を高く上げる動きを経験させる。 ○跳び下りについては，前時の学習を想起させる。 ○支持でのまたぎ乗り慣れたら跳び箱をつなげ，ゲーム化することで意欲づけを図る。 ◇進んで，支持でのまたぎ乗り・下り，支持での跳び乗り・下りの遊びに取り組もうとする。</p>	
5	<p>8 学習のまとめをする。 ○自己評価をする。 ○全体で本時の学習を振り返る。</p>	<p>○丁寧に跳び箱遊びに取り組んだ児童を取り上げ，次時の学習につなげる。 ○怪我の有無，体調について確認する。 ○役割分担にしたがって，グループで協力しながら後片付けをさせる。 ○学習カードの観点にそって自己評価させる。</p>	学習カード

1 年
No.61～63

1 単元名 跳び箱遊び

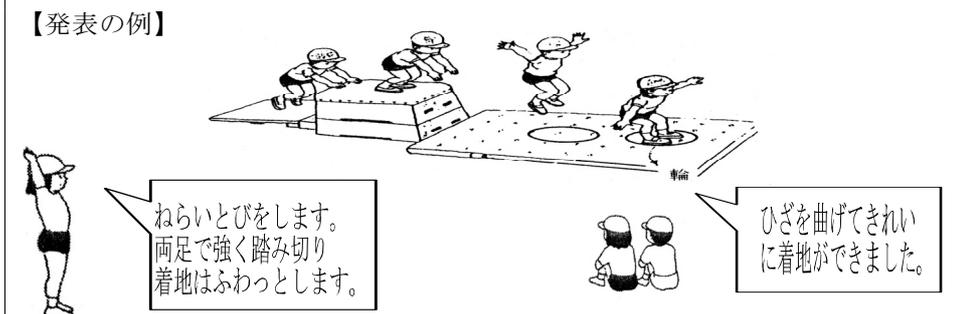
2 目標 できる跳び箱遊びを楽しんだり，できそうな跳び箱遊びに挑戦することができる。

3 展開 (4～6/7)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
15分	できる跳び箱遊びを増やすこと		跳び箱 マット 踏み切り板
	1 集合，整列，挨拶をする。 2 準備運動をする。 【準備運動に取り入れたい動き】 ・ケンケン・スキップ走・大また走り ・ケンパーとび ・カエルの足打ち ・うさぎとび ・川とび・馬とび など	○安全に，素早く集まれるようにする。  とぶ人は指を開き，手のひら全体を友達の背中に着くよ。 馬の人は目はおへそを見るようにするよ。	
25	できる跳び箱遊びをふやそう		
	5 場をローテーションしながら，できる跳び箱遊びで楽しむ。	○跳びはじめ・終わりの合図をしっかりと守らせ，安全に跳び箱運動遊びができるようにする。	
5	 ※助走は2～5メートル程度		
	6 友達の跳び箱遊びを見合う。 7 できそうな跳び箱遊びに挑戦する。 8 整理運動をし，後片付けをする。	○一人遊びだけでなく，友達と楽しめる遊びも紹介し，遊びが広がるようにする。 ○実態によってはマットをロール状にした上での前回りにも取り組ませる。 ◇できる跳び箱遊びを，増やすことができる。 ○怪我の有無，体調について確認する。 ○役割分担にしたがって，グループで協力しながら後片付けをさせる。	
	9 学習のまとめをする。 ○自己評価をする。 ○全体で本時の学習を振り返る。	○学習カードの観点にそって自己評価させる。	学習カード

1 年
N064

- 1 単元名 跳び箱遊び
- 2 目標 自分ができるようになった跳び箱遊びを発表することができる。
- 3 展開 (7/7)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
10分	<p>できる跳び箱遊びを発表すること</p> <p>1 集合，整列，挨拶をする。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【準備運動に取り入れたい動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンケン・スキップ走・大また走り ・ケンパーとび ・カエルの足打ち ・うさぎとび ・川とび・馬とび など </div> <p>3 跳び箱遊びの場作りをする。</p> <p>4 本時の学習のねらいを確認する。</p>	<p>○安全に，素早く集まれるようにする。</p> <p>○役割分担に従って，安全に手際よく場づくりができるように指導する。</p>	跳び箱 マット 踏み切り板
5	<p>5 自分のめあてを確認し，発表にむけて練習する。</p>	<p>○跳びはじめ・終わりの合図をしっかりと守らせ，安全に跳び箱運動遊びができるようにする。</p>	
25	<p>6 自分ができるようになった跳び箱遊びを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発表会の持ち方の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で発表する。 ○グループ毎に順番に発表を見合う。 ○2グループ間で発表を見合う。 ○1グループの1/2程度が他グループの発表を見に行き，時間になったら交代する。 </div>	<p>○発表会の持ち方については，学級の人数や児童の実態を考慮する。</p> <p>○全員の児童の発表が見られない時にはよりよい遊び(動き)ができていない児童を紹介する。</p> <p>○友達のがんばりや伸びを認め合うこともねらいの一つであることを伝える。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【発表の例】</p>  <p>ねらいとびをします。 両足で強く踏み切り 着地はふわっとします。</p> <p>ひざを曲げてきれいに着地ができました。</p> </div>		
5	<p>7 整理運動を行い，後片付けをする。</p> <p>8 学習のまとめをする。 ○自己評価をする。 ○全体で本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇できるようになった跳び箱遊びを，発表しようとする。</p> <p>○怪我の有無，体調について確認する。</p> <p>○役割分担にしたがって，グループで協力しながら後片付けをさせる。</p> <p>○学習カードの観点にそって自己評価させる。</p>	学習カード

5 補助資料

(1) ふりかえり・学習カード例

○ふりかえりカード例

	/	/	/	/	/	/	/
☆めあてを考えながら、がくしゅうできたか。	○	○	○	○	○	○	○
☆力いっぱいとびばこあそびができたか。	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
☆じゅんぴやかたづけをがんばることができたか。	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
☆やくそくをまもり、なかよくがくしゅうできたか。	□	□	□	□	□	□	□

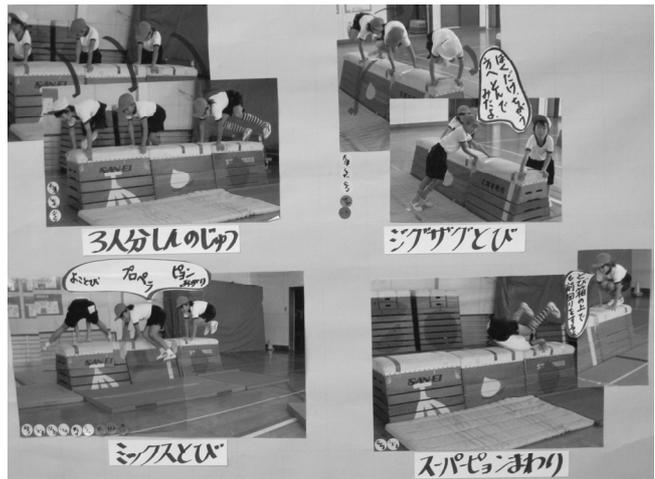
○学習カード例

できたらシールをはろう。

よじのぼり 	とびおり 	またぎごし 	ふみこし 	てたたきとび
うしろてたたきとび 	またぎのり・おり 	とびのり・おり (ひざ) 	とびのり・おり (あしうら) 	
よことび 	パーとび 	ゲーとび 	だいじょうまわり 	

◎じぶんでかंगाえたあそびをかいておこう。

- ※ 学習カードを拡大コピーし、できた遊びに児童の名前シールを貼っていくのもよい。それにより児童の実態がつかみやすくなる。
- ※ 遊びの名前も児童に考えさせていくと、意欲が増す。



(2) 跳び箱遊びの練習の場の例

